

with/after コロナの医工連携

令和3年1月14日(木)
17:00~18:50

オンラインミーティングシステムZoomを使用します。

参加費無料

近年、患者の身体的負担の少ない低侵襲治療が広がっています。手技が発展する一方で、その手技を支えるデバイスの開発、改良の余地はまだ残されています。岡山大学では、医工連携により、術者がCT装置から離れた場所で遠隔操作により針の刺入をおこなうロボット（Zerobot®）を開発しています。がんの診断及び治療ではCT画像をリアルタイムで表示する透視が有用ですが、術者への放射線被ばくが課題となっています。岡山大学ではこれまでに臨床試験をおこない、その有効性や安全性を確認しています。今後は医師主導治験を予定しています。

オルバヘルスケアホールディングス株式会社（旧：株式会社カワニシホールディングス）は積極的に医工連携に取り組む医療機器販売商社の一つです。コロナ禍においても企業と共同開発あるいは事業化へ協力した製品の販売、医学系学会へのオンライン出展など、いまできることを見つけ出し、医工連携の歩みを止めずに活動しています。

新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に、ロボット、AI（人工知能）への期待が高まっています。優れた医療機器の開発には基礎的な研究と、その研究の社会実装を担う企業との連携が欠かせません。アカデミアと企業の視点から医療機器開発を学ぶ機会として是非ともご参加ください。

医療機器販売商社による医工連携の実践 ～ with/afterコロナの視点を含めて～

17:00-17:50

前島 洋平 氏

オルバヘルスケアホールディングス株式会社 代表取締役社長
(旧：株式会社カワニシホールディングス)

CTガイド下針穿刺ロボット(Zerobot)の開発

18:00-18:50

亀川 哲志 氏

岡山大学大学院 ヘルスシステム統合科学研究科 准教授

お問い合わせ先

東京都医工連携HUB機構
(運營業務受託：日本コンベンションサービス株式会社)
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2丁目3-11
日本橋ライフサイエンスビルディング603号室
東京都医工連携イノベーションセンター

電話: 03-5201-7321 (平日9:00~17:00)
FAX: 03-5201-7322
Mail: info@ikou-hub.tokyo
URL: <https://ikou-hub.tokyo/>



1月14日(木)医工連携セミナー

対象者

医療機器産業/医工連携に関心をお持ちの、臨床機関、大学・研究機関、製販企業、ものづくり企業、その他行政・支援機関の方

お申込方法

- ①ホームページ <https://ikou-hub.tokyo/event/>
②電子メール info@ikou-hub.tokyo
③ファックス 03-5201-7322

参加申込書

会社・所属機関名(フリガナ)	
参加者名(フリガナ)	
属性 ※一つをお選びください	<input type="checkbox"/> 行政・公的機関 <input type="checkbox"/> 臨床機関 <input type="checkbox"/> 研究機関 <input type="checkbox"/> 製販企業 <input type="checkbox"/> ものづくり企業 <input type="checkbox"/> コンサルティング <input type="checkbox"/> その他
TEL	
Email	
所属機関の住所	
HUB機構への入会	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない <input type="checkbox"/> すでに登録している
メルマガの登録	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない <input type="checkbox"/> すでに登録している

情報交換

- HUB機構スタッフとの情報交換(1時間程度)をおこなってもよい
※チェックされた方は、後日、東京都医工連携HUB機構よりご連絡をさせていただく場合があります

※東京都医工連携HUB機構、東京都中小企業振興公社、東京都立産業技術研究センターは、連携して「医工連携事業」を実施しています。記入いただいた内容は、東京都医工連携HUB機構、東京都中小企業振興公社、東京都立産業技術研究センターからのご連絡と情報提供の目的のために利用させていただきます。本事業に関係のない第三者に開示することはありません。